

新型コロナウイルス感染症患者の発生について

令和4年4月10日（日曜日）足尾双愛病院療養病床で、入院患者様3名、病院職員3名が新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明しました。翌11日（月）には、さらに入院患者様11名、病院職員6名の感染、4月11日現在、入院患者14名、病院職員9名、合計23名の新型コロナウイルス感染症の感染が判明いたしました。

入院患者様、ご家族様には多大なご迷惑をお掛けすることになりました。謹んでお詫び申し上げます。

これまで、2年2カ月にわたる入院患者様への面会謝絶を初め、多くの皆様にご迷惑をお掛けしながらも、感染対策には徹底して臨んでまいりましたが、今回、第6波にも及ぶ新型コロナウイルス感染症のまん延に抗することもできず、このような事態を招いてしまいました。結果として対策を徹底できなかったこととなり、心よりお詫び申し上げます。

11日以降、外来診療を休止し、足尾双愛病院と致しまして病院の総力を挙げて、感染された患者様の治療に全力を注ぎ、病状の早期回復に努めさせていただきます。感染された病院職員の皆様には治療に専念され、早期回復を願うばかりです。これからは感染対策を基本に戻って検証し、これまで以上に新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、感染された皆様、ご家族様の信頼回復に全力を尽くします。

地域医療を担う病院として、高齢者医療とその療養に努めてまいりましたが、今回のことから、事前に予防するための対応措置の大切さと、日々の医療安全確保の大切なことが知らされました。今回の経験を信頼される医療への道標と認識し、より確実な医療体制の確保に反映させ、安心の確保と信頼の回復に努めてまいります。

令和4年4月11日

医療法人社団足尾双愛病院院長 赤松郁夫